

令和4年度 教育事業（生活・自立支援キャンプ） 親子でふれあいデイキャンプ

1 事業概要

大洲市母子寡婦福祉連合会の親子を対象に、国立大洲青少年交流の家を会場にしたデイキャンプを企画した。野外炊事やネイチャーゲーム、コンサートを通して、自主性や達成感、自己肯定感の向上を図った。また、親子にとって秋の楽しい思い出となるよう、自然の中での活動を多く取り入れた。

令和4年度 国立大洲青少年交流の家教育事業
親子でふれあいデイキャンプ

アウトドア料理やネイチャーゲーム、ふれあいコンサートで秋の一日を満喫しよう!
国立大洲青少年交流の家には、豊かな自然がいっぱい。鳥や虫たちの鳴き声を聴いたり、落ち葉や木の葉を拾ったり...自然の中で、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか?

対象
① 大洲市母子寡婦福祉連合会母子部の親子（全日程）
② 関係者から案内のあった一人親家庭の親子（全日程）
③ 一人親家庭で子育てを終えた方（ふれあいコンサートのみ）

期日 10/29 日 9:30~16:00

メニュー(予定)
・ しらすたっぷりピザ
・ 鍋島スープカレー
・ 地元野菜のバーニャカウダ
さのこのアヒージョ

申込方法 詳細は裏面へ **募集人数** 40名程度

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大洲青少年交流の家
〒735-0001 愛媛県大洲市北口1086
電話番号: (0883)24-5176
ホームページ: <https://ozu.nise.go.jp>
〒107-1023 東京都港区赤坂
担当: 企画指導専門職 小池

日程
9:00 受付開始
9:30 開会式・アイスブレイク
10:00 「アウトドア料理に挑戦しよう」 講師...中村 和彦 氏
13:15 「ネイチャーゲームを楽しもう」
14:30 「ふれあいコンサートで癒されよう」出演...中村 和彦 氏
15:30 振り返り・閉会式
16:00 解散

講師プロフィール
「台所はみんなの幸せを作る場所」をキャッチフレーズに、テレビ・ラジオ・イベント出演や料理雑誌、フードコーディネーターを広くこなす。人権教育やキャリア教育にも毎年関わり、「一人ひとりの命を輝かせるために」との想いで、食育・食育に関心している。また、作曲家としてミュージカル等に携わり、中村氏の優しい歌声は多くのファンを持つ。

参加費 無料

準備物 運動のできる服装、エプロン、三角巾（ハンダナも可）、マスク、軍手、水筒等

申込み 大洲市母子寡婦福祉連合会母子部長か、事務局まで別添**申込書**をご提出いただくか、その内容を電話にてご連絡ください。
申込期限を**10月12日(水)**とさせていただきます。
都合により参加できなくなった場合は、担当者までご連絡ください。

その他
○ 当施設の新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに基づき、参加者の安全と安心を確保して事業を実施いたします。
○ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を中止する場合があります。
○ 事業中に発生した負傷・疾病等については、当機構加入の保障の対象となります。
○ 参加者のご要望に応じて、ベビー・チャイルドシッターをご用意いたします。

皆さんの参加をお待ちしています。 **募集人数** 40名程度

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大洲青少年交流の家
〒735-0001 愛媛県大洲市北口1086
電話番号: (0883)24-5176
ホームページ: <https://ozu.nise.go.jp>
〒107-1023 東京都港区赤坂
担当: 企画指導専門職 小池

2 事業の目的（ねらい）

体験の機会が少なくなりがちな環境で生活している子供たちに、豊かな自然環境での料理教室やネイチャーゲーム、コンサート等の活動を提供することで、自主性や達成感、自己肯定感の向上を図る。また、親子のふれあいや参加者相互の交流の中で、豊かな心を育みながら仲間との協調性や相互理解を深めたりネットワークを構築したりする機会とし、更なる生活力の向上を図る。

3 企画のポイント

大洲市母子寡婦福祉連合会の会長、母子部長、事務局に事業の趣旨を説明し、連携して準備を進めた。募集の段階では、会員のプライバシーに配慮しつつ母子部長と事務局を通して参加者を募った。アイスブレイクで緊張をほぐしたり、自然の中での活動を多く取り入れたことで、参加者が気持ちにゆとりを持って参加できるようにした。自立への支援として、野外炊事やネイチャーゲームなどの少し抵抗のある体験プログラムの導入により、子供たちの困難なことに挑戦しようとする心情を育てた。アウトドア料理という非日常を楽しむ機会を設けることで、普段忙しい保護者に家庭生活でも楽しめる調理のヒントを提供した。

4 主催 国立大洲青少年交流の家

5 期日 令和4年10月29日（土）

- 6 場 所 国立大洲青少年交流の家
 7 対 象 大洲市母子寡婦福祉連合会
 8 参加人数 14名（保護者8名、子供6名）
 9 講 師 中村 和憲 氏、国立大洲青少年交流の家職員

10 日 程

- 9:30 開会式・アイスブレイク
 10:00 「アウトドア料理に挑戦しよう」
 13:15 「ネイチャーゲームを楽しもう」
 14:30 「ふれあいコンサートで癒されよう」
 15:30 振り返り・閉会式

11 活動内容

「アウトドア料理に挑戦しよう」では、従来のカレー作りから、料理研究家を講師に迎えた4品のメニュー（ピザ、スープカレー、アヒージョ、バーニャカウダ）に変更して実施した。「ネイチャーゲームを楽しもう」では、鶴ヶ森の自然に親しみながらクイズに挑戦した。「ふれあいコンサートで癒されよう」では、演奏者の優しい歌声と心温まる講話に参加者が癒された。

12 参加者の声

事業後アンケート結果 *満足：100%

- コンサートは、優しい先生のトークと歌で心癒される時間だった。感動した。
- 野外炊事の火起こしが少し難しく大変だったが、おいしくできて良かった。
- 職員や講師がみんな優しくおもしろかった。
- 活動全てで、心豊かになる気持ちでいっぱいになった。
- 普段では体験できないことがたくさん経験できた。

13 事業の成果（参加者の様子を含む）

18名の参加予定であったが、発熱等によるキャンセルがあり、14名の参加となった。アウトドア料理での4つの新しいメニューは、参加者の今後の参考になるものを提供できた。ネイチャーゲームでは、全員が鶴ヶ森の頂上に登り、遠くに大洲城を展望することができた。また、頂上近くの坂では、ロープを使って登るアドベンチャーも経験できた。コンサートでは、参加者は演奏者の優しい歌声に癒され、心温まる講話は、参加者のこれからの生き方を豊かにしてくれるヒントをもらえる時間となった。何よりも、講師のお人柄が優しく、参加者とたくさん交流していただき、本当にありがたかった。

14 事業の課題

事前に一度講師をお呼びして調理研修をしておく、スタッフによる当日の準備や調理の補助がスムーズになり、調理時間も短縮すると考えられる。また、もっと多くの参加数を予定したが、結果として一昨年（12名）とほぼ変わらなかった。団体の母数や案内先が少ないことに課題があるので、来年度は、現在の連携団体に加えて近隣の関係団体にも募集枠を広げるなどの工夫が必要である。さらに、プログラム内容や野外炊事のメニューについても、子供から大人までより楽しめるための改善を検討していきたい。



（担当：企画指導専門職付係付 小池 源規）